

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

1年 のこりはいくつ ちがいはいくつ □ 50～64

- ひき算の意味を「のこりはいくつ?」「ちがいはいくつ?」という具体的な場面から理解します。  
計算カードを使って、ひかれる数が10以下のひき算の練習をし、確実にできるようにします。
- ひき算でつまずいてしまう子が案外多いです。  
指、おはじき、ブロックなどを使って、手で動かし目で確認させて、理解させます。できたら、ほめてあげましょう。

大きい数から  
小さい数を  
ひくんだよ。



2年 長さ(1) □ 90～101

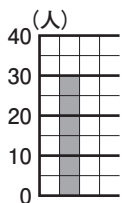
- 長さの単位「cm(センチメートル)」や「mm(ミリメートル)」を知り、ものさしを使っていろいろなものの長さを測ったり、ある長さの直線をひいたりできるようにします。また、かんたんな長さの計算もできるようにします。



1 cm = 10 mm じゃ。

3年 表とグラフ □ 84～93

- 調べたことをわかりやすく整理し、表に表したり、棒グラフに表したりできるようにします。  
棒グラフに表すと、大きさが比べやすくなって便利です。  
棒グラフをよむときは、1めもりが表している大きさに注意しましょう。



左の棒グラフでは、  
1めもりは5人、  
棒の長さは  
30人を表しているよ。



4年 2けたでわるわり算 □ 102～116

- 2けたの数でわるわり算の筆算ができるようにします。

ポイント ① 商の見当をつけてから計算する。

② たてる、かける、ひく、おろすの順に計算する。

$$\begin{array}{r} 6 \\ 41 \overline{) 275} \\ \underline{246} \\ 29 \end{array}$$

- ・わる数の41を40とみて、商の見当をつける。
- ・商の6を一の位にたてる。
- ・41と6をかける。  
 $41 \times 6 = 246$
- ・275から246をひく。  
 $275 - 246 = 29$
- ・答えは、6あまり29



答えのたしかめも  
しておこう。  
 $41 \times 6 + 29 = 275$

5年 単位量あたりの大きさ(2) □ 98～104

- 単位量あたりの大きさの考え方を基にして、速さについて学習します。

〈速さ〉単位時間(1時間・1分間・1秒間)あたりに進む道のりで表す。

$$\text{速さ} = \text{道のり} \div \text{時間}$$

$$\text{(例)} \quad \frac{1200(\text{m})}{\text{道のり}} \div \frac{5(\text{分間})}{\text{時間}} = \frac{240(\text{m})}{\text{速さ(分速)}}$$

単位に気をつけて計算しよう。

$$\begin{aligned} \text{道のり} &= \text{速さ} \times \text{時間} \\ \text{時間} &= \text{道のり} \div \text{速さ} \end{aligned}$$



6年 小数と分数の計算 □ 72～77

- 整数や小数、分数の混じった式の計算のしかたを学習します。

① たし算とひき算

〈分数をきちんとした小数に表せるとき〉

$$\frac{1}{4} + 0.3 = 0.25 + 0.3 = 0.55$$

〈分数をきちんとした小数に表せないとき〉

分数にそろえて計算する。

$$\frac{2}{3} + 0.3 = \frac{2}{3} + \frac{3}{10} = \frac{20}{30} + \frac{9}{30} = \frac{29}{30}$$

② かけ算とわり算

小数や整数は分数になおし、わり算は逆数をかける計算になおす。

$$\frac{2}{3} = 0.666\ldots$$

